



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

CONTENTS

国際福祉機器展H.C.R. 2016

～17か国・1地域、528社が最新の福祉機器を出展！

H.C.R.セミナー報告

福祉施設の実践事例発表

～役立つ活かせる工夫とアイデア

編集・発行：一般財団法人 保健福祉広報協会

Publisher: Health and Welfare Information Association

住所：〒100-8980

東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

Information 7-8

H.C.R. 2016出展企業・団体のみなさま
主催者企画への出展製品の展示・貸出について
ご協力をお願いしています！

H.C.R. 2015国際シンポジウム報告書
「介護サービス従事者をいかに確保するか？
～ドイツ、米国、日本の比較から今後の課題
その対策を考える」が発刊されました！

H.C.R. Webサイトがリニューアルしました！

HCRアプリを使えば、HCRと福祉機器がもっと身近に！

H.C.R. 2016ビジュアルデザインが決まりました

H.C.R. 2016 開催要項



国際福祉機器展 H.C.R. 2016

～17か国・1地域、528社が最新の福祉機器を出展！

第43回国際福祉機器展H.C.R. 2016は、2016年10月12日(水)から14日(金)の3日間にわたって東京ビッグサイト(東京・江東区有明)にて開催されます。

7月1日(金)の時点で、出展社数は17か国・1地域(新たにイタリア、ノルウェー、韓国から出展)からの528社・団体(前年比で6社の増)となり、出展ブースは1,890小間(前年比で75小間の増)に達しています。

H.C.R. 2016では、出展社の展示ブースや主催者企画の一層の充実を図っていく一方で、障害のある方々や介護を必要とする方々などの生活の質を支える福祉機器の展示や関連のイベントをゆとりをもってご覧いただくため、会場内のスペースや来場導線などへの配慮についてさらなる取り組みを進めます。

ホール内の機器の展示と併催する国際シンポジウムでは、障害者の権利の擁護の問題に着目し、これまでの取り組みとこれからの展望についてデンマークと日本からのレポートを基に考察するほか、多様化するニーズに対応した各種セミナーや講座、特別企画などを実施する予定です。



1 H.C.R. 2016国際シンポジウム

テーマ 障害者の権利の擁護とさらなる社会参加の促進のために

～ノーマライゼーションのこれまでとこれから

主旨 わが国の「障害者の権利に関する条約」の締結を受けた諸制度の拡充や2020年のパラリンピック東京大会の開催など、障害者の権利擁護や社会参加の一層の促進に向けた動きが進みつつある状況に踏まえ、障害者の権利の

擁護のこれまでとこれからの展望についてデンマークからのレポートやわが国の取り組み状況などから展望します。

日時：2016年10月13日(木) PM

会場：東京ビッグサイト 会議棟6階
「605-608会議室」

定員：250名 **参加費**：1,000円

※参加申込方法など詳細は順次Webサイト (<http://www.hcr.or.jp>) に掲載します

●登壇者

シンポジスト



ハナ・スティッグ・アンダーセン 氏



末光 茂 氏

① デンマーク

ハナ・スティッグ・アンダーセン 氏
(デンマーク社会福祉・内務省 障害者局長)

② 日本

末光 茂 氏
(社会福祉法人 旭川荘理事長、川崎医療福祉大学 特任教授、医学博士)

チューター

近藤 純五郎 氏

(一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会理事長、弁護士、元厚生労働事務次官)

2 H.C.R.セミナー

保健・福祉・介護に関わるテーマのなかから、以下のようなプログラムを会期中3日間にわたり順次開催する予定です。

i) 一般、福祉サービス利用者・家族むけセミナー

- ① はじめての福祉機器 選び方・使い方 セミナー (テーマ数:10)
- ② 高齢者むけの手軽な日々の食事
- ③ 一般家庭の介護で腰痛にならないための基本技術
- ④ 介護ロボットの活用で未来を拓く

など

ii) 福祉職・介護職むけセミナー

- ① 福祉施設の実践事例発表
～役立つ活かせる工夫とアイデア
- ② 東京オリンピック・パラリンピックの理想とレガシー(遺産)
～環境と福祉の統合、社会への定着を目指して
- ③ 福祉施設での感染症の知識と対応

など

iii) 企業関係者むけセミナー

- ① 介護ロボット開発の最新動向と今後の展望

3 特別企画

① 障害児のための「子ども広場」

子どもむけの福祉機器の集中展示。子ども用機器や療育に関する相談なども実施。

② ふくしの相談コーナー

福祉機器・自助具の相談コーナーを設置。

③ アルテック講座

携帯電話など身近にあるテクノロジー(アルテック)の福祉的活用方法について解説・実演。

④ 高齢者・障害者の生活支援用品コーナー

～自分に合わせられるモノ展(仮題)

障害者差別解消法の制定などにより求められるようになった“合理的配慮”。そこで、H.C.R. 2016では、自分に合わせられる、調節できる「モノ」を紹介。

⑤ 福祉機器開発最前線

研究・開発中の機器や新製品、最先端の介護ロボットを紹介。

⑥ 被災地応援コーナー

災害に見舞われ、復興に取り組みながら製造・生産活動に取り組むセルブ(障害者授産施設)の製品を販売。



※上記のプログラムは現時点での準備の状況ですので、追加や変更の可能性があります。

最新情報と詳細はH.C.R.Web (<http://www.hcr.or.jp>) サイト、メールニュース、プレスリリースなどで、順次お知らせしていく予定です。